

中川村議会だより第121号アンケート結果

1. 今号の内容や編集について（表紙・見出し・写真・紙面構成など）

- 表紙や村民の声に多くの写真が使われており、多くの皆さんに見てもらいやすくなっていると思います。
- 121号も120号に続き編集内容が安定しています。119号はアンケートに記したとおり「手抜き」とも取れる内容でしたが、直近2号の出来栄えは良いと感じます。
- 表紙の写真は「村の子ども」をテーマとして掲載されるとのことですが、前号では「村の文化を紹介」がテーマと記されていました。私個人としては多くの村民の目に留まらない「村の文化」を表紙とした方が良いと思います。もちろん「子ども」も大事にしたいテーマですが村広報誌でも採り上げることが多いため、議会だよりの特徴を押し出すには「埋もれている文化」に光をあてるほうが良いと思います。
- 消防団の活動内容をしっかり見直していくことが大事だと感じました。地域の安全を守るための訓練は必要だと思いますが、慰労会を減らしていくとか。消防団の件に限らず各地区での会合等、コロナの影響で中止となっても特に大きな支障もなく済んでいるようであれば、これを機に見直し「やらなくても済むことだが昔からの習慣でなんとなくやっていること」は排除していけばいいと思います。
- P4~7の村民の声のページは見聞きで読みやすかった。また、写真も入っており皆さんの顔が見えるのも良かった。
- P18の研修結果は豊田市の事例なのか中川村でこれからやっていきたいと思う事なのか、どちらが書いてあるのか分かりづらく読みながら悩んでしまった。
- 誌面の刷新に心を砕かれていることが判り、敬意を表します。
- 《表紙》テーマを決めて、シリーズで写真を載せ、視線に訴えると、次は何が載るのかと楽しみが増え、議会だよりが身近なものになると思う。
- 《紙面構成》今号は、新型コロナ感染拡大防止が叫ばれる中での6月議会で、村における対応がどんな内容になっているか関心があった。
本来、国が国民生活全体に心を配り、必要な対応策・支援策を具体的に示し、国民の生活に直接接している自治体との連携を緊密にしなければいけないのに、なぜか他人事のようにただ単に状況を報告するだけで無責任極まりない。そんな中で、財政力にも限界があるが、村としての村民生活に対する支援が示されていて、議会としても補正予算を承認した経緯が伝わってきた。
- 《住民懇談会》隔年開催にして、村内の各種団体との懇談会を取り組む事にしたのは、視点を変えてみる一つの試みとして評価したい。村内にどんな団体があり、どのような活動をしているのかも紹介しながら、様々な要望等を聞き出せるもの

と期待したい。

- 《村民の声》新型コロナ禍で一番大きな影響を受けている商工会の声を載せたことは、村民の理解を進めるうえで、大いに役立つと思う。
- 《消防団》団員、団関係者、団員家族、村民の声、夫々を議員が直接足を使って聞いて歩いたことは、議員が実際にどんなことをしているかを知ってもらえると同時に、村民との距離を具体的行動で近づけることになったと思う。
- 《厚生文教委員会報告》無理矢理一面にまとめた感があり、内容がうまく伝わって来ない。2回3回に分けてでも、実際に当村で具体化するとしたらどんな形になるのかを提言できるようなものにした方が良いと思う。
- 表紙の写真についてですが、上の写真2枚は子供の表情がうかがえなくて、また下の写真は一番右の女の子の姿が少し切れてしまっていて残念です。
- 前号でも指摘したのですが、文字色が赤色（橙色と言うべきか）の箇所が随所にあって、あくまでも個人の感想ではありますが、非常に読みにくい、読む気が失せると感じます。特に一般質問のページにおいてそれが顕著です。今月は議会だよりの他に、村報、にこりん、公民館報等多くの広報が配布されましたが、その中で議会だよりの紙面はとりわけ異彩を放っているという感じがします。
- 中川村議会の大きな特徴として、議長以外の9人全員が一般質問をすると聞いたことがあります。今回の定例議会では全員が質問したわけではなかったと見受けられます。紙面の都合とも思えませんが、それはなぜなのでしょう。どこかに説明があってもよかったですのではないかと思います。
- 6～7ページに多くの村民の声が載っていて好ましく思う反面、「議会だよりは議会全体としての活動をするものである」という見解（議会だよりの第118号モニターからの提言に対する議会の回答）からすると、はたしてふさわしい記事なのだろうかという疑問を抱きます。4～5ページの集約報告についても同様です。議員が取材したりアンケートを取ったりしてまとめた記事ではあっても、議会全体の活動だとは言えないように思えます。
- 一般質問の記事を読んでいると、あることについて村はどう考えているのか、今後どうするつもりなのかを問いただしているものが多いと感じます。なかには議会の場で質問しなくても関係部局へ問い合わせれば、その場ですぐ判明するような内容も見受けられます。質問することが必ずしも悪いとは思いませんが、質問者は回答を得てそれで満足してしまっていないだろうかと危惧します。もちろん実際の場面ではそこからさらに議論を深めているのかもしれませんが、紙面からは伝わってこないものがあります。
- 最終ページの研修報告は、以前の記事が物見遊山の旅行にでも行って来たように感じるものだったのが、だいぶ変わったなと感じます。行政への提案・提言もあっていいのですが、研修先の多数の事例が同じように中川村でまねできるとも思えません。今回の事例の中でも、これなら中川村でもできる、やるべきだと確信できるものは何かということを議会ですっかり検討した上で、行政に正式な形で

提案・提言してはいかがでしょうか。そうでないと行政も本気で取り組んでくれないのではないのでしょうか。

- 編集後記を「さあ、中川村に来てください」で結んでいます。読者である村民としてはちょっと違和感を覚えてしまいます。
- 世の中全体がそうであるように、議会だよりもコロナの話題が多いなと感じました。その中で消防団の記事はどこか明るい雰囲気ではと感じました。
- 紙面構成でヒヤリンググループや収入保険などのちょっとした専門用語について解説コラムを設けているのは、非常にわかりやすく良いと思う。
- 表紙の説明文の中に例えば(R2.6月公民館活動)みたいなものを入れてみたらどうでしょうか。今回は目次を見ても項目も多くなっているように感じました。村民の声といった今までなかったページがありボリュームのある議会だよりだと思いました。
- 表紙の写真はもう少し工夫をした方が良いのでは無いかと思う。複数の写真レイアウトも何か中途半端な感じがある。メイン画像の竹とんぼを子供達が飛ばしているところ、肝心の竹とんぼ自体がはっきり写っていないのが残念。
- 紙面構成でヒヤリンググループや収入保険などのちょっとした専門用語について解説コラムを設けているのは、非常にわかりやすく良いと思う。
- 見出しや使われている写真など、分かりやすく見やすかったです。
- 消防団の取材のページは、皆さんの意見が分かりやすく書いてあり、色んな人の考えがあるなあと興味深く読みました。少子高齢化でますます若者の数は減っていき、暮らし方も様々になってきます。移住者を呼び込むにも、家族との時間を確保できるようになれば、イメージはもっと良くなると思います。
- 一般質問は議員の方それぞれが、私たちが気になっている事を質問していましたが、今回の7月豪雨で命の危険を感じました。半の沢の埋め立ては、ぜひ専門家の意見を踏まえて検討して頂きたいです。残土の受入れよりも、人命優先だと思います。
- 中川村に住んで都会に通勤は、人口減少になる日本において現実的ではないと思います。ベットタウンではなく、この自然豊かな村で働き暮らせるように整備していくことが大切ではないのでしょうか。

2. 議会だよりに載せて欲しい情報は

- 議員のなりて不足について、多くの人達が議員の皆さんが日頃どの様な活動をされているのか解っていないと思います。
- 121号は村民の声が4ページに渡って掲載されており良いと思います。多くの人々の声を議会が掬い上げて村の政策に反映していく努力を継続してください。
- 「議会の主な動き」を毎号掲載したらどうでしょうか。121号でしたら本年4月～6月の議会や委員会の動静を記載することにより、議員の皆様が日頃どのような活動をしているかが伝わると思います。

- 厚生文教委員会が豊田市で得てきた取り組みは今後どのように中川村で生かされていくのか。
- この8月で任期4年の折り返し地点ですよね。議員個々の活動中間報告が無理ならば、議会全体として何かそれにふさわしい記事を掲載してください。
- 消防団について議員が取材しました・・・とあったので、議員の方に村の産業や地域の取り組みなど毎月議員の視点で取材したのを見たいです。
- 消防団についての村民の声のコーナーが面白かった。これからもこんな感じの村民からの生の声をどんどんご紹介いただきたい。
- 果樹園などで使われている農薬の危険性について。歩行中の子供や、車に乗って走っている時にかかります。人体の影響など気になります。果樹農家の方が多いのでなかなか聞けません。

3. 議会・村に対する要望、意見等

- 中川村のホームページが変更されてから4カ月が経過しました。器が良くなりましたので議会・村ともこれを積極的に活用し常にフレッシュな情報を届けていただくことを期待します。ただ以前のホームページで人気のあった「最近のできごと」が無くなってしまったことは残念です。
- 柳生議員の一般質問での村長の回答に「自然豊かでのんびりした田舎感のある伊那地方で教育環境を充実させて村の特徴を出す」とありますが、具体的にどのように考えているのか是非村民に広く知らせてほしい。何人もの方がおっしゃている様に、自宅待機が長引き子供たちは授業のスピードに追いつくのがやっと、もしくはついていけないというのが現状だと思います。それでも、人対人で一緒の空間にいられば、まだ先生に気付いてもらえて教えてもらうことも出来るでしょうが、オンラインになってしまうと完全に脱落してしまう子どもが多数出てしまいそうでとても不安です。
- 教育委員会を通じて、中学校生徒に子ども議会を取り組んでもらうとか、議会と中学生との意見交換を取り組んでみたらどうか。例えば、第6次中川村総合計画ってどんなもの？ 議員ってどんなことをやっているの？ 国会と地方議会との違いはどんな風に違うの？ のような内容で意見交換などしてみてもどうだろうか。
- 会だよりモニターから寄せられた意見はホームページに掲載されていますが、掲載してそれで終わりにしてほしくないです。少なくとも年に一回、できれば二回は議会としての回答なり、見解なり、集約結果なりを何らかの手段で村民に伝えてください。これは相当に大変な労力を要すると思いますが、何年分もためてしまうとますます大変ですし、議員の皆さんの任期も終わってしまいますよね。20人もの多くの方が毎回かなりの時間を割いて、真摯に考えた上で寄せている意見を、軽くあしらうことのないようにくれぐれもお願いいたします。
- 中川村の村民のために今後もお仕事頑張ってください。

- 一般質問を読んで感じる事はやはり高齢化問題というか、若者の人口減が一番の問題なのでは無いか。現実的対処としては都市部などから移住者を積極的に受け入れることが考えられる。そのことについての今現在必要とされているのは、各地区の自治権と言う名の下に加入金、地区負担金や共同作業等同じ村内でもかなりのばらつきがある。そのあたりの不公平を完全になくすことは早急にはできないにしても、金額や作業内容についておおよその違いがある事実だけでも村のH.P.等できちんと提示するべきだと思う。都市部で生まれ育った者にとって、村ではごく当たり前で説明するまでも無いような常識的なことが全く理解できないこともあると思う。その辺のギャップを埋めるべく、アンケート調査などで移住者が感じている不満や問題点を調査して、村民皆が気持ちよく生活できるように村がリードして全体の意識を高めるようにしていただきたい。
- 役場の職員の方の話なんです、昨年秋ある地区の方が個人的にある農家さんへ稲刈りの依頼をしたら同じ地区の役場職員の方が稲刈りに来ていたそうです。他にもその農家さんの所で仕事をしている所をよく見かけるそうです。その話をしてくれた人も職員の方が休日に他の家の仕事をしていいのか疑問に思い本人に話すこともできずモニターの意見として書いてくれと言われました。
- 一般質問を読んで感じる事はやはり高齢化問題というか、若者の人口減が一番の問題なのでは無いか。現実的対処としては都市部などから移住者を積極的に受け入れることが考えられる。そのことについての今現在必要とされているのは、各地区の自治権と言う名の下に加入金、地区負担金や共同作業等同じ村内でもかなりのばらつきがある。そのあたりの不公平を完全になくすことは早急にはできないにしても、金額や作業内容についておおよその違いがある事実だけでも村のH.P.等できちんと提示するべきだと思う。都市部で生まれ育った者にとって、村ではごく当たり前で説明するまでも無いような常識的なことが全く理解できないこともあると思う。その辺のギャップを埋めるべく、アンケート調査などで移住者が感じている不満や問題点を調査して、村民皆が気持ちよく生活できるように村がリードして全体の意識を高めるようにしていただきたい。
- コロナウィルスの感染拡大によって、都市での生活から田舎の生活へシフトチェンジしたいと思う人が増えていると思います。リモートワークができる方、転職の受け皿など、村としてSNSなど中川村をアピールしていくチャンスの時ではないでしょうか。
- 高齢者のお家にエアコンが設置されていない事がまだまだあると思います。村として設置の補助などは無いのでしょうか？ 熱中症が心配です。(特に独居の方)

4. その他

- 中川村は「新型コロナ対応の特別定額給付金」の事務処理がスムーズに実施できたと思います。役場職員の方々に敬意を表します。議会でも職員の皆様が頑張った際には機会をとらえて労をねぎらう言葉を表すことが大切だと思います。

- 「何にも無いところが中川村のいいところだ。」という話をよく耳にします。確かにそうなのかもしれないけれど、それだけでは人は集まってきてくれないのではないかと思います。何もなくて自然豊かできれいな村+αの部分が必要であると多くの村民が思っている事と思います。どんな魅力があるのか、どんな点を外にアピールすればよいのか村の人達の声をきいてみたいです。
- 毎回紙面の粗捜しをしているような自分がいて、正直うんざりしていますが、残り7か月余りの任期、手を抜かずにしっかりやるつもりです。
- 議会が私たちというか私にどんな影響を与えているか自分でも良く分かりません。コロナの影響で各々が、今後の選択肢に自信を持たない期間が2023年頃まで続くのではないかと感じています。議会での様々な決定が、村内で生活する人のそういった悩ましい心の内の軽減に少しでもつながれば・・・と期待しています。
- 忙しさにかまけて何回かアンケートを提出するのを忘れていたりで、あまり積極的に関われなかったかと思う。忖度なしに自分の感じたまま、言いたいことを書いていたので気を悪くされた方も多々おられるとは思いますが、ご理解いただきありがたく思う。
- 今日のようにモニターしているのなら村に対する意見などを提出してみても言われますが本当の事なのか不安です。一年経過して自分の書いている事が正しいのかと思っています。
- 忙しさにかまけて何回かアンケートを提出するのを忘れていたりで、あまり積極的に関われなかったかと思う。忖度なしに自分の感じたまま、言いたいことを書いていたので気を悪くされた方も多々おられるとは思いますが、ご理解いただきありがたく思う。
- まだまだ中川村について知らない事がたくさんあるなあ毎回感じます。自然が豊かで、わくわく楽しい事があって、色んな人たちが暮らす村が好きだというのは、他の皆さんも感じている事なんだなあと思います。私たちの言葉をしっかり拾い上げて議会に持って行って下さる議員の方々ありがとうございます。